



紀南病院広報誌

# つながり

第17号 平成21年7月発行

紀南病院スローガン(21年2月～) はやく やさしく せいかくに

## ■病院理念

優しくて、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

## ■基本方針

1. サービス精神 (KINAN) の徹底—— (K)気持ちをこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、(N)任務の遂行
2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
3. 生活の質の向上 (QOL: quality of life) を中心とした診療と援助
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上 (救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など)
5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供

熊野大花火

# 「三重県地域医療研修センター」開設記念講演会

5月9日(土) 県熊野庁舎

——尾身茂自治医大教授・奥野正孝三重県地域医療研修センター長が講演——

地域医療に従事する医師育成を主な目的に、三重県が紀南病院内に設けた「三重県地域医療研修センター」の開設記念講演会が、5月9日、県熊野庁舎で開かれました。同センター長の奥野正孝先生や、政府の新型インフルエンザ対策専門家諮問委員会委員長を務める自治医科大学の尾身茂教授が講演されたほか、安田敏春副知事、萩野虔一三重県議会議長、内田淳正三重大学学長、佐川典正三重大学医学部卒後臨床研修部教授、古川弘典紀南病院管理者（御浜町長）からも、センター開設を祝福し挨拶がありました。



奥野センター長は『へき地は医者ステキにする』をテーマに、自身の体験談から「住民から頼られているという思いが自己を鼓舞し、原動力となる。多くの医師がへき地を経験する仕組みをつくりたい」と話されました。



尾身教授からは『へき地から世界へ』というテーマで、ポリオ撲滅に貢献された体験やWHO西太平洋地域事務局長を務めながら、SARSや鳥インフルエンザに対応した経験、総合医と専門医の必要性、医療は公共財という認識の大切さ、長期的なビジョンで政治・行政に提言してゆく必要性などを話されました。また、今回の新型インフルエンザについて、人類史上初めて、発生に対して備えができていた感染症であること、感染拡大時には最悪を想定して、学校の休校や自宅での隔離など、やらないよりはやりすぎるくらいの行政判断が必要なこと、国内で感染者が出た場合は、最初は一例一例の水際対策が大事だが、ある程度以上増えてしまったら、死亡する人をいかに減らすかに重点を移す、などを話されました。

尾身教授からは『へき地から世界へ』というテーマで、ポリオ撲滅に貢献された体験やWHO西太平洋地域事務局長を務めながら、SARSや鳥インフルエンザに対応した経験、総合医と専門医の必要性、医療は公共財という認識の大切さ、長期的なビジョンで政治・行政に提言してゆく必要性などを話されました。また、今回の新型インフルエンザについて、人類史上初めて、発生に対して備えができていた感染症であること、感染拡大時には最悪を想定して、学校の休校や自宅での隔離など、やらないよりはやりすぎるくらいの行政判断が必要なこと、国内で感染者が出た場合は、最初は一例一例の水際対策が大事だが、ある程度以上増えてしまったら、死亡する人をいかに減らすかに重点を移す、などを話されました。

折りしも当日は、新型インフルエンザの日本で最初の発生が確認され、尾身先生は宿泊予定を返上して、夕方には東京に帰りましたが、今回開設された研修センターについては、歴史の転換点になるかもしれない等、高い評価をしておられました。



奥野センター長（左）と尾身教授

## 研修医だより

東京大学附属病院から地域医療研修で4月から3ヶ月間研修をおこなってありました佐藤靖祥先生と内科の関めぐみ先生によるバイオリン、ピアノコンサートが当院サニールームにて行われました。佐藤先生は5歳からバイオリンをはじめ、学生時代も音楽部で演奏しており、関先生と息のあった演奏で、魔女の宅急便のテーマ曲の他2曲を披露してくれました。最後に関めぐみ先生がピアノ演奏とともに「アベ・マリア」を独唱され、美しい歌声に蒸し暑さも忘れて皆聞き入っていました。佐藤先生は、「拙い演奏にもかかわらず、皆様のおかげで、とてもうれしかったです。是非いつかまたこの地域にきて演奏したいです。」と笑顔でいっぱいでした。



# スポーツ傷害について

整形外科 渥美 覚



「スポーツ傷害」＝「スポーツ外傷＝けが」＋「スポーツ障害＝故障」であり、整形外科に受診される多くは「スポーツ外傷＝けが」の方が多いと思います。骨折や捻挫・打撲といった受傷からすぐに痛くなるものは「スポーツ外傷＝けが」と呼ばれ、生活に支障をきたすような痛みを伴うようになると学校や仕事を休んで病院に受診して頂いていると思っています。

それでは、「スポーツ障害＝故障」はどうされていますか？

「スポーツ障害＝故障」の多くはスポーツ活動時のみ痛みがあり、日常生活に支障はない場合が多く、病院までは受診しない方もいらっしゃると思います。

野球のボールを投げると肩(かた)や肘(ひじ)が痛い投げなければ痛くない、サッカーボールを蹴ると足の付け根や膝が痛い走るだけなら痛くない、走ると膝(ひざ)や踵(かかと)が痛い歩くだけでは痛くない、バスケットボールやバレーボールでジャンプをすると膝が痛い、テニスのラケットを振ると肘が痛いなどの症状が「スポーツ障害＝故障」の初期症状です。

整形外科の中にはスポーツ整形外科という分野があり、このような「スポーツ傷害」に対する予防・治療・現場でのメディカルサポートなどの中心を担っています。

みなさんのとらえ方としては膝が痛い、肩が痛いひとまとめになりがちですが我々スポーツドクターとしては、膝や肩のどの筋肉やどの靭帯に関係した痛みかを診察や検査をした上で判断し、薬物加療、局所安静・ストレッチ・筋力指導、装具・サポーター・テーピング指導などを行います。また痛みの原因によっては、手術を勧める場合もあります。

例えば、野球のボールを投げると肩や肘が痛い人や、サッカーボールを蹴ると足の付け根や膝が痛い人は、局所安静(投球・キックの禁止や制限)も大切ですが投球・キックフォームに問題がある場合も多く、痛みが減った段階でフォーム修正(痛い場所以外のバランスも含めた修正)を行う事で再発予防につながります。このため、どの動作が痛みに関連しているのかを選手が理解しプレーすることが大切です。

また、走ると膝(ひざ)や踵(かかと)が痛い人や、バスケットボールやバレーボールでジャンプをすると膝が痛い人や、テニスのラケットを振ると肘が痛い人などではoveruse(使い過ぎ)が原因のこともあり、ストレッチだけでなく練習負荷を減らすことが治療に必要なこともあります。こういう場合には、選手だけでなく指導者の方にも選手の「スポーツ障害＝故障」を理解してもらうことが大切です。

さらに、検査結果によっては手術療法が必要な場合もあります。例えば、膝の痛みの原因が半月板損傷であったり、肘の痛みの原因が軟骨損傷であった場合などです。半月板損傷では膝関節鏡手術があります。膝関節鏡は1cm弱のキズ2-3箇所です手術可能でありダメージも最小限ですむため比較的コンディションを落とさずに行える手術といえます。また、肘の軟骨損傷は安静だけの治療ですむ状態から、関節鏡を使った手術や普通に切開して行う手術が必要な状態まで多種多様です。

もし「スポーツ傷害」で悩むことがあれば、当院整形外科では上記のような指導と関節鏡を含めた手術までを行っておりますので一度受診してみてください。みなさんがよいコンディションでスポーツ活動をでき、よい結果を残すお手伝いをできればと考えております。

## 「がん患者と家族の会」の立ち上げ

—— 紀南病院『<sup>なご</sup>和みの会』

この地域でがんになっても、不安な気持ちを共有したり、患者さん同士で療養生活に役立つ情報交換をする場が今まではありませんでした。

ある時、入院されている患者さんから「患者さん同士の交流の場がほしい。」という声が聞かれ、3F外科看護師が中心となり、三重大学地域医療学講座の武田裕子教授にもご支援をして頂き、今年の1月に患者さんと家族の会を立ち上げました。1月と4月に患者会を開催し、1回目は10名、2回目は20名程の方々に参加していただき、実際にがん体験をされた方の話をお聞きしたり、日頃の思いを語り合ったりと有意義な時間を過ごすことができました。



2回目の集まりで皆さんのご意見をもとに、会の名前を「和みの会」と命名しました。

これからも患者さんや家族が中心となり、たくさんの方々が気軽に立ち寄りいただけるような会にしていきたくと思っています。多数の方のご参加よろしくお祈りします。

次回3回目は7月26日(日) 14:00～16:00 紀南病院 2階「すこやかルーム」です。

お問い合わせ先：紀南病院(05979-2-1333) 3階中央病棟まで

## わいた！ たなばたコンサート

毎年恒例の七夕コンサートが7月8日、紀南病院エントランスホールで開かれました。紀南病院コーラス部のハーモニーには磨きがかかり、関めぐみ先生の独唱は、『NHKのど自慢』（5月24日放映：那智勝浦町）♪合格♪の再演となりました。当院におられた鈴木孝明先生も



ゲスト出演されました。後半は、昨年好評を博した『よさこい



そーらん・八咫鳥（やたがら

ず）を今年もお招きし、観覧された国際協力機構（JICA）アフリカ視察団（ベナン、マダガスカル、セネガルから7名）も踊りに加わるなど、大いに盛り上がりしました。

## 入院病棟に休憩室つくりました

入院棟3階に、『海に見える休憩室』を設けました。部屋には書棚も備え、食事もしていただくことができます。入院中の患者様や、その面会者の方に、ご利用いただけます。



## 総務課・管理課

総務課は、経営企画運営、人事、経理、福利厚生、広報などを担当しています。医師の引き揚げ、診療科の減少等により、厳しい経営状況となっておりますが、DPC（診断群分類包括評価）の導入による経営の効率化、水光熱費等の節減、また、医師の確保に努め、地域住民の皆様にも安心して・安全な医療サービスを提供できますよう努力してまいります。

管理課は、病院の施設の管理、物品の管理を担当しています。病院の老朽化が進んでおり、患者様にご迷惑をおかけすることもございますが、より良い入院環境が提供できますよう取り組んでいきたいと思っております。



## 天理教ひのきしん

4月29日、天理教の皆様による当院周辺の草刈りボランティア作業が行われました。きなん苑では毎月、草刈りをしていただいています。ありがとうございました。

## 紀南病院ボーリング大会

7月13日夜、新宮市・東宝ボウルにおいて60名が参加。男子の部は松本公博（理学療法士）、女子の部は山門ひとみ（看護師）が、それぞれ優勝。



## 父のこと

## 奥野正孝

私の父は医者である。小さな島で人生の大半を過ごした、名もない医者である。しかし私の記憶の中には、消毒薬臭い手以外に医者らしい父の姿を思い出すものは何もない。記憶にあるのは、私たち兄弟を引き連れてキャンパス片手に島のあちこちに絵を描きに行ったり、海辺の潮だまりに小さなカニや魚たちを探しに行ったこと。そして、手帳片手に空を見上げて好きな俳句をひねり、運動会だ結婚式だといったは、カメラを肩からぶら下げて出かけて行き、正月前になると鼻



の頭に脂を浮べて年賀状の版画を刷っていた、そんな父の姿である。

四人兄弟の三番目の次男として生まれた私は、兄や姉に比べてとてもよろしくない子供であった。生まれた時はまるまると太っていたが、親を喜ばせていたのはそこまで。三歳ごろから拒食症でやせ細り家でごろごろしていた。保育所も昼寝が嫌で四日でやめてしまった。入学時の健康診断では体中にできたオデキを見られるのがいやでこずらせ、学校の帰りにはいじめっ子に待ち伏せされいつも泣いて帰ってきた。親の目を盗んで台所の棚の上のせっけん箱に入れてあった小銭をつかんで近所の駄菓子屋に走り、げんこつをくらったこともあった。事あるごとに口答えし反抗期は長く続いた。

高校二年の春休み、父は私を九州に連れて行ってくれた。生まれて初めての父と二人っきりの旅である。毎夜毎夜、次の日の予定を列車の時刻表を眺めながら決める勝手気ままな旅であった。父が私を旅のパートナーとして、初めて一人前の人間として、認めてくれたようでとてもうれしかった。

私が医者になりたいと思ったのは予備校生の時である。その理由は父の後を継ぎたいからなどというのではなく、何かしら"人"を相手にする職業につきたかったからだ、もっともらしく自分で納得していた。受験の時の面接試験でもそう言ったし、医学生になってからもずっとそう信じていた。

そして、卒業してからはなぜか父と同じ道を歩んだ。小さな島の医者になったのも同じであったし、島で青年団活動をしたのも同じであった。たまたま家に帰って島でのことを父に話しても、父はただうんうんとうなずくだけで何も言わなかった。

そんな父が18年前に死んだ。母と三人の俳句仲間と連れ立って大好きな吟行に行く途中、黒潮の打ち寄せる海岸に沿って走る列車の中で倒れた。心筋梗塞でほぼ即死状態であった。その時列車が走っていた場所は、はからずも私が大学卒業後すぐに勤めたへき地の小さな病院（南牟婁民生病院）の前あたりであった。

父が死んで初めて、なんとかして父の後を追いかけてやろうとしている自分に気付いた。素直でない自分の存在を言葉では言えずに、同じように行動することで認めてもらおうとしていた自分にやっと気付いた。

長女が幼稚園児であった頃ひよんなことから旅に連れだし、長男が小学生頃には一緒に時刻表を見ながらの列車の旅に出た。また私は、あまり写しもしないのにカメラが好きだし、時々さぼるけど正月には版画を刷る。そして今、大学生になってしまった次男坊主をどうやって旅に引っ張り出そうか思案している。



区 分		月	火	水	木	金	
内 科	午 前	1診(初診)	奥野正孝内科総括	奥野正孝内科総括	小林 文人医長	武田 裕子医師 (小林文人医長)	奥野正孝内科総括
		3診(再診)	西久保公映副院長	西久保公映副院長 (11:00~)	西久保公映副院長	西久保公映副院長 (11:00~)	
	午 後	3診(再診)	西久保公映副院長	西久保公映副院長	西久保公映副院長	西久保公映副院長	糖尿病専門外来(月1回) 住田 安弘医師 肝臓病専門外来(月2回) 岩佐 元雄医師 杉本 龍亮医師
		4診(再診)	小林 文人医長			尾辻 典子医師	循環器専門外来(月1回) 山門 徹医師
外 科	1診	乳腺専門外来(第1月曜日) 小川 朋子医師	須崎 真副院長	野口 孝院長	野口 孝院長	須崎 真副院長	
	2診	熊本 幸司医師	熊本 幸司医師	熊本 幸司医師	藤井 武宏医師	藤井 武宏医師	
整 形 外 科	1診	川喜田英司医長	渥美 覚医師	川喜田英司医長		渥美 覚医師	
	2診	渥美 覚医師	川喜田英司医長	渥美 覚医師		川喜田英司医長	
脳神経外科	2診	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長		仲尾 貢二医長	脳ドック専門外来 仲尾 貢二医長	
眼 科	1診	久保 朗子医長 (第1・第3・第5休診)	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長	
産 婦 人 科	1診	葛西 普一医長	紀平 知久医師	關 義長医長	葛西 普一医長	紀平 知久医師	
小 児 科	1診	鈴木 幹啓医長	鈴木 幹啓医長	鈴木 幹啓医長		鈴木 幹啓医長	
皮 膚 科	1診	嶋 聡子医長		嶋 聡子医長		嶋 聡子医長	
神 經 内 科	1診					木田 博隆医師 谷口 彰医師 成田 有吾医師	
泌 尿 器 科	1診			堀靖英医師(午後)			
耳 鼻 咽 喉 科	1診				松浦徹医師(午前)		
歯 科 口 腔 外 科	1診	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	
備 考	※ 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし、急患については時間外でも受付します。なお、当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。						

## 新しく着任された先生

整形外科医長  
かわきたえいじ  
川喜田英司  
先生



### ●略歴

琉球大学卒業で、このたび村瀬病院から赴任しました。

### ●趣味

釣り

### ●医師を志した理由

人のためになれるから。

### ●医学部へ入るにはどのようなことが必要だと思いますか。

やる気。

### ●抱負

地域の皆さんのお役に立てるよう、頑張りたいと思います。

## 紀南病院受診のご案内

### ●内科

内科は7月1日より**完全予約制**とさせていただきます。よって、内科の初診診療には**紹介状**と**事前予約**が必要となります(救急の場合を除く)。健康診断・ドックで異常を指摘され、精密検査が必要な患者様も、事前に予約を取ってください。

電話 05979-2-1333 (代)

### ●脳神経外科の初診診療は、予約も紹介状も不要です(月・火・木)。

### ●泌尿器科と神経内科につきましては、新規の患者様の診療をお断りさせていただいており、院内他科からの依頼があった患者様に限らせていただいております。

### ●整形外科と皮膚科につきましては、受付時間が、午前11時までとなっております。